



# 令和6年 上田地域 県政おもなできごと

この1年を振り返り、「上田地域の県政おもなできごと」18項目を選定しました。

月	内 容	
1月	<p style="text-align: center;"><b>「断熱改修はじめの一歩」 内窓キットでD I Yワークショップを開催 (地域振興局 環境課)</b></p> <p>地球温暖化による生活環境の変化に対する「緩和」「適応」策として取りかかりやすい建物(内窓)断熱の必要性を学ぶ講習会&amp;D I Yワークショップを開催しました。 ホームセンターで販売されている内窓キットを使用して合同庁舎の会議室に実際に内窓を設置するという内容で、内窓を設置し、10度も表面温度が変わったことにより、内窓設置の効果を確認することが出来ました。</p>	
2月	<p style="text-align: center;"><b>長野県将来世代応援県民会議上田地域会議の開催 (地域振興局 総務管理課)</b></p> <p>将来を担う子ども・若者の健やかな成長を目指し、多様なネットワークにより県民全体で将来世代を支援するため、長野県将来世代応援県民会議上田地域会議を5年ぶりに開催しました。 上田地域における信州子どもカフェの取組状況、各団体における取組状況についての紹介、参加者による意見交換を通じて、上田地域における支援の状況及び課題について、理解を深めていただくことができました。</p>	

<p>5月</p>	<p style="text-align: center;"><b>UE森 2024</b>  <b>～上田地域にぎやかな森づくり植樹の集い～</b>  <b>青木村で開催</b>  <b>(地域振興局 林務課)</b></p> <p>森林が主伐・再生林の時期を迎えている上田地域で、参加者が本格的な植樹作業に取り組む「UE森 2024～上田地域にぎやかな森づくり植樹の集い～」を5月25日、青木村下横手で開催しました。</p> <p>上田地域の森づくりに協力いただいている「にぎやかな森プロジェクト」参加企業の皆さんに加え、長野大学の学生や一般公募の参加者など約300人がカラマツ苗木4,000本を植樹。急傾斜に悪戦苦闘しながらも「山づくりの大変さがよくわかった」と実感しながら、爽やかな汗を流しました。</p>	 
<p>6月</p>	<p style="text-align: center;"><b>交通死亡事故ゼロ</b>  <b>青木村が1,000日を達成</b>  <b>(地域振興局 総務管理課)</b></p> <p>青木村では4月17日をもって1,000日間交通死亡事故が発生しなかったことから、交通安全推進の功労を顕彰するため、長野県交通安全運動推進本部長（長野県知事）の賞状が授与されました。</p> <p>今後も地域における街頭啓発活動、パトロール、子どもたちへの見守り活動等を通じ、交通安全運動を推進してまいります。</p>	
<p>6月</p>	<p style="text-align: center;"><b>長野県消防ポンプ操法大会上小地区大会</b>  <b>上小消防ラッパ吹奏大会の開催</b>  <b>(地域振興局 総務管理課)</b></p> <p>「長野県消防ポンプ操法大会上小地区大会・上小消防ラッパ吹奏大会」を上田市丸子総合運動公園、上田市丸子総合体育館において開催しました。</p> <p>ポンプ操法第1部（ポンプ車）7チーム、第2部（小型ポンプ）15チーム、ラッパ吹奏団体の部8チーム、個人の部18チームに参加いただきました。</p> <p>今後も消防団員の日頃の訓練成果を発表する機会を確保するとともに、消防ポンプ操法技術及びラッパ吹奏技術の向上発展と士気の高揚を図ってまいります。</p>	

<p>6月</p>	<p style="text-align: center;"><b>祢津御堂地区でブドウ畑の整備事業が完了</b> (地域振興局 農地整備課)</p> <p>東御市の祢津御堂地区で、平成27年度から実施してきた県営畑地帯総合整備事業が完了しました。</p> <p>信州ワインバレー構想・千曲川ワインバレー地区の主要生産地としてはほ場整備事業を進め、令和3年までに約24haに及ぶ畑地の整備が完了、本年6月には主要な農道や排水施設が完成を迎えました。</p> <p>地区内全ての畑でワイン用ブドウの定植がされ、本地区で収穫したブドウによるワイン醸造も始まり、地域のワイン振興の一層の活性化が期待されます。</p>	 
<p>8月</p>	<p style="text-align: center;"><b>人口戦略策定に向けた意見交換の実施</b> (地域振興局 企画振興課)</p> <p>人口減少下でも活力ある社会を維持・向上させるため、行政・産業界・地域など様々な方と共に取り組む戦略の策定に向け、知事・副知事が県内10地域で意見交換を実施しました。</p> <p>上田地域では、副知事が「上田グローバル共生社会づくり研究会」の皆様と持続可能な地域産業や外国人材との共生社会づくりなどをテーマに意見交換を行いました。</p>	
<p>8月</p>	<p style="text-align: center;"><b>新規就農者激励会を開催</b> (農業農村支援センター)</p> <p>上田地域で新たに農業を始めた人たちを激励する「新規就農者激励会」を開催しました。</p> <p>新規就農者には、現在の状況や今後の目標について語っていただき、先輩農業者からは激励の言葉が送られました。</p> <p>地域農業を支える担い手育成のため、新規就農者の経営安定および発展を支援してまいります。</p>	

<p>9月</p>	<p style="text-align: center;"><b>青木中学校で「職場体験学習・防災学習」を実施 (建設事務所)</b></p> <p>青木村の青木中学校で、「職場体験学習・防災学習」を開催しました。</p> <p>令和元年東日本台風の復旧工事に関わった地元建設業者の「体験談」や子育てと仕事を両立させて建設現場で働く「女性の声」を通じ、業界の状況を知っていただきました。</p> <p>また、流域治水や耐震化の模型を使用して、村の防災対策や災害発生メカニズムなどについて実演、説明しました。</p> <p>生徒自身の防災対策に、また、地域の防災活動の担い手につながることを期待します。</p>	
<p>10月</p>	<p style="text-align: center;"><b>「第29回全国棚田（千枚田）サミットin上田」の開催 (地域振興局 農地整備課)</b></p> <p>「全国棚田（千枚田）サミット」が上田市で開催され、県内外から棚田の保全活動を行っている方など約500人が参加し、棚田を次世代に継承していく方法などを考えました。</p> <p>式典では、豊殿小学校によるオリジナルソングの披露、能登半島地震で被害を受けた石川県輪島市の「白米の千枚田」復興の取組の報告、また稲倉の棚田の事例発表などが行われました。</p> <p>「日本の原風景」と呼ばれる棚田がより多くの人々と関わり、次の世代へ引継がれていくことを期待します。</p>	
<p>12月</p>	<p style="text-align: center;"><b>「地域発 元気づくり支援金」活用事業の優良事例を表彰 (地域振興課 企画振興課)</b></p> <p>令和5年度に「地域発 元気づくり支援金」を活用して実施した事業のうち、モデル性や他地域への波及効果などが特に優れている2事業を優良事例に選定し、表彰式を開催しました。知事賞には、長島自治会の「地域住民と神科小学校児童による玄蕃山里山整備」事業が選定されました。</p> <p>優良事例の紹介を通じて、地域づくりに取り組む機運を醸成し、地域の元気づくりを促進してまいります。</p>	

<p>12月</p>	<p style="text-align: center;"><b>国道 254 号萩窪・平井バイパスが完成、供用開始 (建設事務所)</b></p> <p>上田市と松本市を結ぶ国道 254 号萩窪・平井地区にバイパスが完成し、供用開始しました。</p> <p>これにより、急カーブ、狭い幅員、歩道の設置等、安全面での課題が解消されるとともに、近隣住宅地の騒音・振動等、生活面での改善も図られました。</p> <p>また、通行量が多く、とりわけ大型車の往来も多い基幹道路であることから、観光振興・物流等の面からも期待されています。</p>	
<p>通年</p>	<p style="text-align: center;"><b>フードドライブの開催 (地域振興局 総務管理課)</b></p> <p>物価高騰の影響等で食事に困るご家庭を応援するため、フードドライブを開催しました。(6～7月、10月、11～12月) 多くの県民の方々、各種団体、庁舎内の職員などからたくさんの食料等をご寄付いただきました。いただいた食料等は、上田地域の信州こどもカフェ(こども食堂)で活用され、子どもたちの笑顔につながりました。</p>	
<p>通年</p>	<p style="text-align: center;"><b>上田地域の伝統的工芸品の魅力発信・販路拡大に向けた取組 (地域振興局 商工観光課)</b></p> <p>地域内外の方に、上田地域の伝統的工芸品(上田紬・農民美術・手作り打上花火)の魅力を再発見してもらうことにより、販路の拡大につなげるため、「鹿教湯温泉 食・浴の秋祭りウィーク」において、伝統的工芸品の展示と製作体験を実施するとともに、花火の打上げを行いました。(10月)</p> <p>また、現代の生活空間に融合し、日常生活をより豊かにする伝統的工芸品の良さを実感していただくため、住宅展示場のモデルハウスにおいて、展示と製作体験を実施しました。(11月)</p>	

<p>通年</p>	<p style="text-align: center;"><b>上田地域の観光振興に向けた取組</b> (地域振興局 商工観光課)</p> <p>上田地域の魅力の向上と発信による人を惹きつける観光地域づくりを官民一体となって推進するため、「上小地域観光戦略会議」を開催しました。(5月)</p> <p>戦略会議のもとに設置した「サイクルツーリズム分科会」、「上田地域食材活用分科会」において、民間事業者にも参画していただきながら、各テーマの実現に向けた取組を推進しました。(7月、10月、11月)</p> <p>また、「道の駅 美ヶ原高原」において、「上田地域 秋の観光・道の駅周遊促進キャンペーン」を開催し、地域の観光PRを行うとともに、管内7か所の道の駅と連携し、地域内で観光客等の周遊を促進する取組を実施しました。(9月)</p>	 
<p>通年</p>	<p style="text-align: center;"><b>県民参加型予算等による</b> <b>「ワインを活かした観光地域づくり」の取組</b> (地域振興局 商工観光課)</p> <p>県民の皆様の新たな発想や問題意識を取り入れた、「県民参加型予算」で提案された、観光客等が気軽にワインを楽しめる環境を整備するための「ワイン提供機器整備支援事業」及びワイン・ツーリズムの周遊先となる観光拠点を創出するための「遊休不動産を活用したワイン関連ビジネス創出事業」を実施しました。(4月～)</p> <p>また、「地域振興推進費」により、小規模なワイナリーなどに代わって、観光客等にワイナリーやワインを紹介できる人材を育成する「ワイン・ツーリズムサポート人材育成事業」を実施しました。(7月、8月、10月、11月)</p>	 
<p>通年</p>	<p style="text-align: center;"><b>地域の人手不足の解消と産業人材の確保に向けた取組</b> (地域振興局 商工観光課)</p> <p>『長野県就業促進・働き方改革戦略会議』上田地域会議を開催し、地域における若者の就業促進や、外国人材誘致・地域との共生等について、地域における取組事例の共有や意見交換を行いました。(7月)</p> <p>また、地域の産業人材の確保を図るため、外国人留学生に注目し、事業者の留学生に対する「事業PR力」を高め、「採用力」を強化することを目的として、「上田地域 外国人材活用スタートセミナー」及び「地域の事業者と留学生をつなぐマッチング交流会」を開催しました。(10月、11月)</p>	 

<p>通年</p>	<p style="text-align: center;"><b>次世代を担う技術者（建設系学科高校生）の 就労促進のため、各種研修会を実施 （建設事務所）</b></p> <p>建設産業の次世代を担う技術者の確保・育成を図るため、各種関係団体及び施工業者の協力を得て、管内の建設系学科高校生（上田千曲高等学校、丸子修学館高等学校）に向けた各種研修会を実施しました。</p> <p>少子化に伴う人口減少の影響により、建設業界では高齢化・人手不足が顕著です。</p> <p>若者向けの研修会などを通じ、未来の建設業界を支える有能な人材の育成を図ってまいります。</p>	 
-----------	--	---

こども  
まんなか

みんなでつくろう！こども・子育てに優しい信州

（問合せ先）

担 当	上田地域振興局 総務管理課 総務係
	齊藤 若林
電 話	直通 0268-25-7111
	代表 0268-25-1260 内線 2212
ファクシミリ	代表 0268-25-7115
電子メール	<a href="mailto:uedachi-somu@pref.nagano.lg.jp">uedachi-somu@pref.nagano.lg.jp</a>